

## ポスター発表 F

9月25日(日) 第3エリア・G会場

### 3. 地域ケア・サービス (13:00~13:48)

座長：益岡 賢示 (有限会社プレミアム・ダン)

演題抄録掲載ページ→p.317-320

3-1

認知症高齢者の家族介護者の集いの場作りに向けた取り組み

発表者：小野塚元子 (京都橘大学看護学部)

3-2

認知症者の家族と医療専門職との連携を支援するガイドブックの開発

発表者：小池富士子 (朝日ホームおんせんリハビリテーションセンター)

3-3

認知症者の家族介護者のセルフヘルプ・グループにおける世話人の機能

発表者：川西 智也 (首都大学東京大学院人文科学研究科)

3-4

認知症初期症状に対する民生・福祉委員の受診促進意向の変化と関連要因

発表者：竹本与志人 (岡山県立大学保健福祉学部)

3-5

認知症予防の冊子作成と出前講座の試み

発表者：岡田 千砂 (桜ヶ丘病院)

3-6

認知障害に早く気づき高齢者の在宅生活を支援するために

発表者：福田 敏秀 (社会福祉法人こうほうえん)

3-7

保険外の在宅サポート事業、長時間見守り・付添いケアの専門性と QOL の実現

発表者：白澤 順子 (NPO 法人グレースケア機構)

3-8

訪問看護介入により幻視が顕著に減少した 1 例

発表者：西川 千穂 (おひさま訪問看護ステーション)

### 8. 介護スタッフ／虐待対応・予防 (権利擁護) (13:00~13:36)

座長：池田恵利子 (一般社団法人あい権利擁護支援ネット)

演題抄録掲載ページ→p.337-340

8-2

認知症高齢者のその人らしさに対する看護師の認識

発表者：今坂 鈴江 (広島文化学園大学看護学部)

8-3

認知症専門棟におけるグループケア活動の活性化

発表者：市丸 徳美 (特定医療法人祐愛会介護老人保健施設ケアコートゆうあい)

8-4

病院におけるパーソン・センタード・ケアの実践のために

発表者：宮崎 稚子 (三豊市立西香川病院)

8-5

癒しを目的とした“人に触れるケア”の実践者に対する意識調査（第一報）

発表者：菊地 慶子（浜松医科大学医学部看護学科）

8-6

癒しを目的とした“人に触れるケア”の実践者に対する意識調査（第二報）

発表者：牧野公美子（浜松医科大学医学部看護学科）

8-7

地方自治体における養介護施設従事者等による高齢者虐待の防止・対応の現状と課題

発表者：吉川 悠貴（認知症介護研究・研修仙台センター）

#### 18. QOL・生活支援／ターミナル（13：00～13：54）

座長：水野 陽子（日本赤十字看護大学）

演題抄録掲載ページ→p.376-380

18-1

アルツハイマー病患者の記憶障害の気づきに伴う内的体験

発表者：荒井佐和子（独立行政法人国立病院機構広島西医療センター）

18-2

急性期病院における認知症高齢者ケアへの取り組み

発表者：高梨 早苗（財団法人神戸市地域医療振興財団西神戸医療センター）

18-3

重度認知症高齢者に対する QOL 向上のための取り組み

発表者：梅津 博子（医療法人社団永生会介護老人保健施設イマジン）

18-4

認知症患者の支援における他職種との情報の連携について

発表者：川江 真人（医療法人社団和風会橋本病院）

18-5

認知症高齢者に対する継続的な作業活動支援

発表者：伊藤 篤史（介護老人保健施設 LA・LA・LA）

18-6

認知症高齢者の日常生活ケアに関わる意思決定能力の特徴

発表者：内ヶ島伸也（北海道医療大学看護福祉学部）

18-7

配偶者喪失後に高齢者が生きる目的

発表者：塚本 都子（学校法人専門学校首都医校）

18-8

利用者の生活を支える院内介助ボランティア活動の継続

発表者：青木由美恵（横浜市立大学）

18-9

重度認知症の人における終末期の治療・介護方針の理想と現実的判断に関する分析

発表者：中島民恵子（医療経済研究機構）

## 21. 家族 (13:00~13:48)

座長：来島 修志 (日本福祉大学)

演題抄録掲載ページ→p.389-392

21-1

電話相談が地域包括支援センター等と連携をはかる意義について

発表者：船橋 昭彦 (認知症の人と家族の会・愛知県支部)

21-2

認知症の家族介護における副介護者の機能

発表者：磯谷 一枝 (東京都健康長寿医療センター精神科)

21-3

認知症の人と主介護者の続柄による認知症ケアの受容度の相違

発表者：林 三代志 (名古屋文理大学短期大学部)

21-4

認知症家族会における「支え合い」の技法の可視化に関する研究

発表者：荒井 浩道 (駒澤大学)

21-5

認知症高齢者の家族が高齢者をもの忘れ外来に受診させるまでのプロセス

発表者：木村 清美 (高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科)

21-6

認知症専門医につなげられなかったケースについて

発表者：鈴木 絹代 (社会法人研水会地域包括支援センターあさひ)

21-7

本人・家族交流会を通してサポートのあり方を考える

発表者：大島 享子 (医療法人藤本クリニック)

21-8

老老・非老老世帯における主介護者の介護負担感に関する検討

発表者：堀田 和司 (茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学科)

## 27. 教育・研修 (13:00~13:54)

座長：中村 考一 (認知症介護研究・研修東京センター)

演題抄録掲載ページ→p.414-418

27-1

認知症サポーター養成講座におけるロールプレイの効果と課題

発表者：植木 博之 (身延山大学)

27-2

認知症と共に生きていく高齢者の主観的体験に関する国内外の研究動向と今後の課題

発表者：堀田 美沙 (富山大学大学院医学薬学教育部)

27-3

認知症介護指導者養成研修における地域ケアの実践についての課題

発表者：中村 裕子 (認知症介護研究・研修大府センター)

27-4

認知症介護実践リーダー研修における学びに関する一考察

発表者：汲田千賀子（認知症介護研究・研修大府センター）

27-5

認知症高齢者とのかかわりに関する演習での模擬患者（SP）導入による教育効果

発表者：新山真奈美（秋田県立衛生看護学院）

27-6

認知症対応型グループホーム実習における看護学生の学びの実態

発表者：福岡 真理（鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科）

27-7

認知症連携担当者研修の成果と今後の課題

発表者：齊藤 祐介（認知症介護研究・研修東京センター）

27-8

老年看護学実習において学生が感じた“看護の魅力”

発表者：小楠 範子（鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科）

27-9

老年看護学実習における認知症対応型デイサービスでの学び

発表者：小松 光代（京都府立医科大学医学部看護学科）